

高校教育指導課通信 VOL.6

「高校教育指導課通信」では、各学校の工夫した取組等について情報提供します。第6号は尾道商業高等学校です。

令和2年6月5日（金）

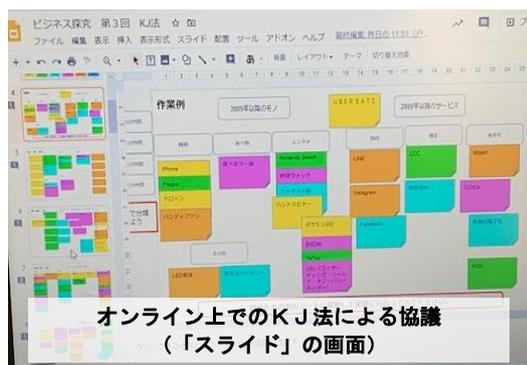
尾道商業高等学校 <http://www.onomichi-ch.hiroshima-c.ed.jp/>

主体的な学びを促す授業づくり

— ICTを有効活用した協働的な学びの実現を目指して—

オンラインを活用した思考力・判断力・表現力の育成

⇒「ビジネス探究」に関する家庭学習用の課題に取り組ませる際、多様な考えを整理・分析・統合する力の育成を図るため、クラスを8グループ（5人組）に分け、G Suite上で「スライド」を活用して、KJ法によるグループ協議を行わせました。



担当の先生より

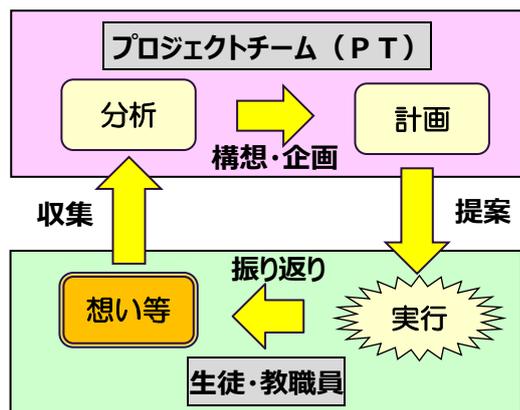
- ▶ 生徒は様々な考えを画面上の付箋に入力し、生徒同士で自然と役割分担して、個々に作成した付箋をグルーピングしたり、タイトルをつけたりしていました。
- ▶ 教師が思った以上に、生徒は協働的に取り組むことにより、目標を達成することができました。
- ▶ また、活動を通して、協働する力や自己有用感を高めていました。

プロジェクトチームを中心としたマネジメントサイクルの確立

—生徒や教職員の想いを大切にし、一人一人が自分事として取り組む組織を目指して—

想いや願いをかたちにする組織づくり

⇒臨時休業下の効果的な授業づくりや効率的な業務の遂行を図るため、ICT機器を有効活用する研究開発等を行うプロジェクトチーム（PT）を組織しました。生徒や教職員の想いや願い等を丁寧に聞き取り、主体的な学びを促す授業づくりや、教職員研修資料の作成に活かしていました。



PTの先生より

- ▶ 生徒の声や教職員の声に耳を傾け提案することで、生徒や先生が自分事として取り組むことができました。

教職員の感想

- ▶ 「思考・判断・表現」に関する目標の達成状況を見取るには、予めルーブリックを作成しておく必要がある。
- ▶ また、生徒にも提示しておくことで、目標が明確になりより意欲的に取り組ませることができのではないかと思います。

